

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 楽生縁

## 目標達成計画書

作成日: 平成 30 年 4 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加委員を広く募り、テーマを決めてメリハリをつける等、内容の工夫も含めて取り組んでいく。	家族、地域住民、行政の参加をえているが、テーマに沿って薬剤師や訪問看護師、歯科衛生士、地域で活躍している有識者等を招聘し、話をしてもらおう等、参加したくなる魅力のある会議を目指し、その中で関係を築きながら、ホームや地域の課題について話し合える場となるよう取り組んでいく。	12ヶ月
2	11	運営に関する職員意見の反映	職員会議の開催時間を検討し、職員が意見や思いをしっかりと表出できる機会を設け、職員やサービスの向上に繋げていく。	より多くの職員が参加できる時間帯として、現在勤務時間内で1時間行われている職員会議の在り方を、職員の希望を聞いて再検討し、全員でしっかりと話し合う時間を確保する事で、より強固なチームワークを築いていく。	12ヶ月
3	15	職員を育てる取り組み	職員一人ひとりの介護力に差があるので、介護技術や知識の習得に取り組み、誰が介護しても、利用者の喜びに結びつく介護サービスに取り組んでいく。	職員の経験や習熟度、やる気に合わせて外部の研修会に参加を促し、介護の知識や技術の向上に取り組み、利用者が生きる力を引き出す介護の実践を目指していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。